

平成23年度 あま市防災会議
会議録（要旨）

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 平成24年3月28日 |
| 場 所 | あま市役所本庁舎3階 市長公室 |
| 委員 | あま市長 村上 浩司 あま市副市長 山田 登志男 愛知県津島警察署長 木村 俊正 海部東部消防組合消防長 林 有二 あま市連合消防団団長 石原 捷也 あま市議会議長 伊藤 嘉規 あま市議会総務文教委員会委員長 吉川 景男 あま市議会厚生委員会委員長 水谷 康治 あま市議会建設産業委員会委員長 八島 進 あま市社会福祉協議会会長 青木 精三 あま市総務部長 山崎 之孝 |
| 欠席者 | あま市教育長 水野 良美 |

- 1 あいさつ
(市長より開会の挨拶)
- 2 委員委嘱について
(各委員の委嘱を行いました。)
- 3 議題

【説明】

(事務局よりあま市地域防災計画の修正(案)について説明を行いました。)

採決後、出席者全員の賛成のもと、当地域防災計画の修正については可決されました。

【議題1】

委員：東日本大震災を受け、ライフラインの整備が非常に重要になってくるが、上水道設備に関して、名古屋市や愛知県は他府県にも応援に行く内

容で協定を交わしているがそのあたりも含めて、支援の関係はどのように考えているのか。

事務局：あま市では、水道の部局で支援のための協定を交わしており、支援を行える体制になっております。

また、食糧や葬儀関係の物資等の調達に関する協定につきましても、順次進めております。

会長：あま市の旧甚目寺町は名水、旧七宝町、旧美和町につきましては県水が給水されており、一方で支障が出れば一方で補えるような体制づくりがされております。また、資料編にもありますように甚目寺駅前を始めとして市内各所に耐震性貯水槽を設置しております。

【議題2】

委員：災害時には、電気・水道等が止まってしまえば、組織の連絡網を利用した電話連絡等ができなくなる。そのため、各市町の防災ハムクラブ（無線のアマチュア団体）等を活用することは考えているか。

事務局：現在では考えておりません。市では、コミュニティFMの開設を目指しており、災害時の情報配信体制の見直しを行い、強化に務めて参ります。

【議題3】

委員：以前は、地震災害対策編に防火地域、準防火地域についての記述があったはずだが、現在は掲載されていないがどうしてか。

事務局：風水害対策編と地震災害対策編の2編に分けて計画されており、風水害対策編の記述を引用する形式をとっておりますので、掲載されていないわけではありません。

【議題4】

委員：広報手段として、様々なソーシャルメディアを使用することが予想されるが、ソーシャルメディアは普段使用していないと情報の配信が非常に行いにくい。今回、地域防災計画の中で「ツイッター等」と表記しているが、あえて「ツイッター」を明記していることに何か特別な意味はあるのか。

事務局：愛知県の地域防災計画等の修正に合わせて、あま市の地域防災計画も修正しているため、そうした表現をさせていただいておりますが、特別な意味はございません。

【議題5】

委員：避難所の運営の部分で、保健師を配置して健康管理に努めるとともに栄養指導についても行うとありますが、避難所の管理栄養士の配備させるお考えはないか。

事務局：災害発生時には、当然、栄養管理やこころのケア等に努める必要があります。その際には、愛知県等に養成し専門のカウンセラーや管理栄養士の方に来ていただけるように努めてまいります。